

NPO法人「ちゅうぶ」訪問 安全・便利・快適な鉄道について意見交換

1月13日、J R 東海労働組合関西地区分会は、N P O 法人「ちゅうぶ」を訪問して、安全・便利・快適な鉄道について意見交換を行いました。

「ちゅうぶ」の尾上代表理事をはじめ車いすを使われているみなさんから貴重な意見を頂きました。「ちゅうぶ」に訪問して意見交換を行うのは、2021年10月15日に次いで二回目になります。

前は、J R 東海が新幹線各駅で使用しているスロープの不具合（スロープとホームの接する部分に角度があり、車いすの前輪が引っかかり前のめりに転倒する）や、新幹線車両の車いすスペース（車いすスペースが少ない）などについて意見交換を行いました。

その後、スロープの角度の改善と車いすスペース6席設置（N 7 0 0 S 車両）の拡大は行われています。

今回は、N 7 0 0 S 車両使用時におけるスロープの不具合（N 7 0 0 S 車両使用時にスロープと車体がしっかりと固定できないためスロープが外れる）、N 7 0 0 S 車両「車いすスペース」W E B 予約の問題点（乗車券は窓口で購入、簡単にW E B 予約ができないなど）、J R 東海が実施する「業務改革」によりお身体のご不自由なお客様に不便や負担（駅の無人化、ワンマン列車の拡大など）が生じることなどについて幅広く意見交換を行いました。

前回に引き続き今回も貴重な意見と車いすを使われているみなさんからの生の声を頂きました。「ちゅうぶ」のみなさん、大変ありがとうございました。

お身体のご不自由なお客様はじめすべてのお客様の安全・便利・快適な鉄道を目指した取り組みに活かさせていただきます。

